

2019年度東北学院大学卒業式

大学院学位記授与式及び大学卒業証書・学位記授与式挙

学部卒業生・大学院修了生・保護者が一堂に会しての卒業式を挙行しない苦渋の決断

三月二十四日にカメイアリーナ仙台(仙台市体育館)において挙行予定だった「二〇一九年度東北学院大学卒業式」は、新型コロナウイルス感染症のリスクを回避するため、三月二十三日、学部卒業生・大学院修了生の代表者のみの出席とし、ラーハウザー記念東北学院礼拝堂に場所を代えて執り行った。



学部卒業生2,555名と大学院修了生47名の門出を祝う

校歌斉唱、聖書朗読、祈禱、大学院学位記授与、大学卒業証書・学位記授与に続いて行われた告辞で大西晴樹学長は、学部卒業生・大学院修了生・保護者が一堂に会しての卒業式を挙行しないという苦渋の決断を強いられたことなどに触れ、「皆さんが生きていく時代は、この三十年間に見られるような大きな変化と危機の時代です。しかしな

がら、危機(クライシス)は新しい時代を創造する好機(チャンス)でもあります。大震災による危機を克服する人々の姿に励まされながら勉学に努め、友情を育んできた皆さんには人類が直面する変化と危機を克服する力があると確信しています。大学での学びの成果を発揮すると共に、これからも勉強意欲と探究心を忘れず、この大きな変化と危

機(クライシス)を乗り越えていくと決意を述べ、卒業生総代の高橋志光さんは、恩師のアドバースで言葉の意味の大切さを学び、ゼミナールを通じて学ぶことの意義や仲間たちとの学びは新しい発見に繋がりますと話した。世界はたくさんの問題で満ち溢れています。「命と光と愛を世界のため

に」というスクールモットーを忘れずに、様々な場面で活躍し、社会に貢献し、向き合う問題に適切な答えを導き出せるよう努力してまいります」と充実した大学生生活の思い出と抱負を述べた。

閉会後、報道機関の取材に対して石垣茂光学生部長は「東日本大震災の影響で卒業式を行えなかった卒業生たちへ、今でも残念がっていることもあり、代表者だけでも無事に式を終えることができ、喜ばしく思っています。今は状況が厳しく、本来のスタートと異なりますが、安心して次のステージへ向かってほしいと願っています」と、学部卒業生二千五百五十五名と大学院修了生四十七名の門出を祝った。

経済学部経済学科の学生8名が学長表彰

3月24日、経済学部経済学科の学生8名に対して学長表彰式が執り行われた。

「阪神・淡路大震災25年 防災・社会貢献ディベート大会」で篠崎准教授のゼミ生(4年)が優勝し、メンバーの佐藤敦啓さんが「最優秀ディベーター」に選出された。マーケティング戦略立案コンテスト「EDGE」において、アレイ教授のゼミ生(2年)がカゴメ部門で3位を獲得した。

- ◆「阪神・淡路大震災25年 防災・社会貢献ディベート大会」(優勝)
 - 磯島 悠斗 相原 礼奈 佐藤 葉月 佐藤 敦啓
- ◆「マーケティング戦略立案コンテスト『EDGE』」カゴメ部門(3位)
 - 吉田 奈央 伊藤 光 浦山 優作 中垣 暁規



高校 345名が巣立った 第72回卒業式挙

三月二日、東北学院高等学校において「第七十二回卒業式」が挙行された。



十時より始まった卒業式は、新型コロナウイルスの影響を最大限に考慮し、阿部恒幸校長をはじめとした教職員と卒業生代表の鈴木泰智さんが礼拝堂に、その他の卒業生は各教室で待機し、礼拝堂での模様を校内放送で聞くという、例年とは大きく異なる形式となった。また、保護者の皆様と在校生においては事前連絡にて出席をご遠慮いただいた。

院長の式辞を阿部校長が代読。続いて行われた告辞で阿部校長は、平成三年に青森県津軽地方を襲った台風十九号によって特産品のりんごのほとんどが商品化できなくなったが、枝に残ったわずかなりごに価値を見出して成功した例や、ドイツ人哲学者ショーペン・ハウエルの言葉「幸せを数えたら、あなたはすぐに幸せになれる。」を例に出し、「時代は混沌とし、あ

る種の不安感や閉塞感を漂わせています。しかし、そんな空気に飲まれた大人たちと一緒に守りに入るのではなく、常に前向きになることを心に留めて、これからを力強く生きてください」との言葉で卒業生を送り出した。

その後は各教室で担任から卒業証書をはじめ、文化賞や特別表彰などが卒業生に渡され、三百四十五名の卒業生は学舎から巣立っていった。

藤さんは、「三年前、緊張と不安の気持ちの中で入学式をむかえたことは今も忘れていません。全世界で拡大しつつある新型コロナウイルスより、東北学院中学校において「第七十三回卒業式」が挙行された。当日は、新型コロナウイルスに対する措置を取り、三月二日に挙行された東北学院高等学校と同様に、保護者の皆様や在校生の出席はとりやめ、阿部恒幸校長をはじめとした教職員と卒業生代表の伊藤夢さんが礼拝堂に、その他の卒業生は各教室で待機し、礼拝堂での模様を校内放送

で聞く形式となった。礼拝堂では黙禱、松井浩樹宗教授の聖書朗読、そして松本宣郎院長の式辞を阿部校長が代読。続いて行われた告辞で阿部校長は、「皆さんは東北学院中学校の新しいコース制の第一期生として入学しました。あれから三年間、勉強や部活動、行事と本当によく頑張りました。高収入を収めてくれました。高校生活では、それぞれの夢に向かって歩みを進めてください」との言葉を卒業生に送った。

卒業生を代表して伊藤夢さんは、「三年前、緊張と不安の気持ちの中で入学式をむかえたことは今も忘れていません。全世界で拡大しつつある新型コロナウイルスより、東北学院中学校において「第七十三回卒業式」が挙行された。当日は、新型コロナウイルスに対する措置を取り、三月二日に挙行された東北学院高等学校と同様に、保護者の皆様や在校生の出席はとりやめ、阿部恒幸校長をはじめとした教職員と卒業生代表の伊藤夢さんが礼拝堂に、その他の卒業生は各教室で待機し、礼拝堂での模様を校内放送

卒業生を代表して伊藤夢さんは、「三年前、緊張と不安の気持ちの中で入学式をむかえたことは今も忘れていません。全世界で拡大しつつある新型コロナウイルスより、東北学院中学校において「第七十三回卒業式」が挙行された。当日は、新型コロナウイルスに対する措置を取り、三月二日に挙行された東北学院高等学校と同様に、保護者の皆様や在校生の出席はとりやめ、阿部恒幸校長をはじめとした教職員と卒業生代表の伊藤夢さんが礼拝堂に、その他の卒業生は各教室で待機し、礼拝堂での模様を校内放送

福ヶ岡 287名が巣立った 第59回卒業式挙

三月二日午後一時より、東北学院福ヶ岡高等学校において「第五十九回卒業式」が挙行された。当日は、午前中に行われた東北学院高等学

校と同様に新型コロナウイルスに対する措置を講じた。阿部恒幸校長は、「入学式の際に伝えた『良き師、良き友、良き本』との出会いを大切にしてください」とのこと。出会いはチャンスは待っていない。常に前を向き、話を聞き、チャンスと思えばしっかりと掴んでください

その後は各教室で卒業証書や各賞の賞状や賞品等が授与され、百七十九名の卒業生は学舎を後にした。

前奏、讃美歌、聖書朗読、松本宣郎院長の式辞を湯本校長が代読。続いて、湯本校長は「入学式の際に伝えた『良き師、良き友、良き本』との出会いを大切にしてください」とのこと。出会いはチャンスは待っていない。常に前を向き、話を聞き、チャンスと思えばしっかりと掴んでください

その後は校歌、頌業、祝詞、後奏が行われ、二百八十七名の卒業生を送り出す式の一切を終了した。卒業生(代表・塙龍也さん)の答辞と在校生(生徒会長・草深竜世さん)の送辞は、式次第と共に配布された。



松本宣郎院長、小鷹真紀PTA会長の祝辞の後、卒園児五十六名が「卒園式の歌」を元気に歌い、式は終了した。

幼稚園 2019年度 第58回卒園式挙

三月十六日、幼稚園ホールにて第五十八回卒園式が挙行された。

新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小して行うため、式に先立ち島内久美子教頭が「新型コロナウイルス感染症の影響で、皆さんのことを応援しています」と、園児たちにエールを送った。



松本宣郎院長、小鷹真紀PTA会長の祝辞の後、卒園児五十六名が「卒園式の歌」を元気に歌い、式は終了した。